

松山能のすごさ実感

東部中生 着付けや舞台鑑賞

酒田

酒田市東部中
（赤塚枝美校長）

で伝承されている県指定無
形民俗文化財・松山能につ
いて、着付けや舞台鑑賞を
通じて学んだ。



松山能の衣装を着て役者の気分を味わう生徒
＝酒田市・松山城址館

松山能を継承する「松山能社」（榎本和介会長）が講師を務めた。若い女性役が身に着ける「唐織」、源義経と旅の僧の衣装を用意。代表生徒3人が団体のメンバーから着付けてもらった。幾重にも衣装を重ね、それぞれが「変身」として他の生徒からは拍手が起こっていた。唐織を着た斎藤歩叶さん（13）は「思ったより重くて転び

そうだった。これを長時間着て演じられるのはすごい。松山能が全県、全県広まってほしい」と話した。生徒は他に、演「吉野天人」の一部を鑑賞した。

郷土愛の醸成などを目的に、総合的な学習の一環として松山能の歴史や道について説明を受けた。

（井上萌々子）